

# 茨城キリスト教大学 生活科学部食物健康科学科 第12回講演会

21世紀、食のフォーラムⅡ

土・食・健康

## 農作物への放射性物質の移行

3.11の東日本大震災による福島第一原発事故で大量の放射線核種が放出され、福島県を中心に深刻な影響を与えています。土壌や海洋を汚染した放射線核種は作物や海産物にどれくらい取り込まれるのか、土壌から農作物への放射線核種移行研究の第一人者が、科学的根拠に基づき解説します。

後援 茨城県、茨城県教育委員会、水戸市教育委員会、日立市教育委員会、茨城県栄養士会

2012年2月12日(日) 13:30~15:30

茨城キリスト教大学 8号館大講義室

JR常磐線大甕駅下車 徒歩12分

13:30 開会 主催者挨拶

13:40 講演 「農作物への放射性物質の移行」

◆講師 / (財)環境科学技術研究所主任研究員 塚田祥文 先生

15:30 閉会

聴講料  
無料

講師紹介

塚田 祥文(つかだ ひろふみ)

(財)環境科学技術研究所 主任研究員博士(農学)



大学で地球化学を学んだ後、国立公衆衛生院の山縣登・岩島清教授のもと、1983年から環境放射能研究の道に入る。環境中における放射性および安定元素(特にSr、Cs、I)の移行・動態に関する研究に従事。IAEA講師、放射線医学総合研究所客員研究員、原子力安全委員会防災ワーキング委員、厚生労働省薬事：食品衛生審議会食品衛生分科会放射性物質対策部会委員、青森県原子力施設環境放射線調査結果検討会委員、アイソトープ協会企画委員等を兼務。



直接会場へお越し下さい。 駐車場ございます。

問い合わせ先

茨城キリスト教大学 〒319-1295 日立市大みか町6-11-1  
TEL 0294-52-3215【内線3420,3421 食物健康科学科助手室】